

令和元年8月6日(火)

きぼう代表	望月 昭治
政策調査会代表	中澤 広行
無会派	池田 祐輔
議長	石倉 一夫
副議長	山内 崇仁

1. 視察日程 令和元年7月22日(月)～24日(水)
2. 視察場所 香川県高松市、岡山県高梁市
3. 視察議員 議長：石倉一夫 副議長：山内崇仁
会派きぼう：望月昭治、茂木弘伸、山崎正男、田村なつ江
会派政策調査会：中澤広行、須田勝
無会派：池田祐輔
4. 視察内容 ①香川県高松市のインパウンド推進について
②岡山県高梁市、駅前複合施設整備と市立図書館の運営について

5. 視察報告

① 高松市概要

高松市は、多島美を誇る波静かな瀬戸内海に面し、これまで、人々の暮らしや経済・文化など様々な面において、瀬戸内海との深いかかわりの中で、県都として、また、四国の中枢管理都市として発展を続けてきた、海に開かれた都市です。気候は、年間を通して寒暖の差が小さく、降水量の少ないのが特色です。

「高松」は鎌倉時代に開け始め、大正16年(1588年)豊臣秀吉の家臣生駒親正が玉藻浦に居城を築き高松城と名付けたことに由来し、生駒4代54年、松平11代220年を通じて城下町として栄えました。明治維新の廃藩置県後、香川県の県庁所在地となり、明治23年2月15日に市政をしき、全国40番目の市としてスタートしました。これまでに大正、昭和、平成を通じ、8回に



わたる合併で、北は瀬戸内海から南は徳島県境に至る、海・山・川など恵まれた自然を有する広範な市域の中に、にぎわいのある都心やのどかな田園など、都市機能・水・緑が程よく調和し、豊かな生活空間を有する都市となっています。

恵まれた風土と地理的優位性を生かし、四国の中枢管理都市として発展してきましたが、特に昭和 63 年の瀬戸大橋開通や平成元年の新高松空港開港、平成 4 年の四国横断自動車道の高松への延伸などにより高松市を取り巻く環境が大きく変化する中、平成 11 年 4 月、中核市に移行しました。

現在、高松市の人口は平成の大合併などを経て、42 万を擁し、さらに高松市を中心とする高松都市圏の人口においては、約 84 万（2005 年）国勢調査基準と香川県の人口 100 万人の過半数に達する四国最大の都市圏を形成している。

江戸時代には、御連枝の高松松平家（水戸徳川家の分家）が治める高松藩の城下町として盛えた高松城天守がこの街の象徴であったが明治時代に破却され、現在では、2004 年（平成 16 年）に完成した高松シンボルトワーがそれに替わる新しいランドマークとして機能を果たしている。

また、中心商店街である丸亀町商店街では、大規模な再開発が行われており、活気溢れる商店街として多くのメディアが紹介されている。



○高松空港

香川県のインパウンドの客の増加に大きく寄与している高松空港の現状について国際線の動向を中心に整理します。

① 国際線の就航状況

香川県は平成 22 年浜田知事以来、県を挙げて高松空港の国際線誘致に注力してきている。ソウル線が唯一の国際線であったが、平成 23 年に上海線が就航し、翌年には増便した。続いて、平成 25 年に台北線が就航した後、平成 26 年には上海線及び台北線の増便に加え、ソウル線の LCC 化（エアソウル）及び増便、台北線の増便、更に、平成 29 年には上海線の増便と継続的に新規路線就航と増便を実現させてきている。その結果、高松空港は四国の空の玄関口としての地位を確立しつつある。

② 国際線における外国人比率

こうした、高松空港の国際線の充実に伴い、利用客数も増加している。また、国際線全体の乗客に占める外国人比率を試算したところ、就航路線の拡大、便数の増加に伴い、外国人比率も右肩上がりの推移し、足元では入国及び出国ともに約 75%となっている。県による高松空港の国際線の充実が、現在のインパウンド客の増加という結果につながっているといえる。

② 高梁市の概要

高梁市は岡山県の中西部に位置し、県下三大河川の一つの高梁川が中央部を南北に貫流し、その両側に吉備高原が東西に広がっています。地勢は総じて西に高く東に低く高梁川と成羽川、その支流に沿って帯状に曲折した低地部と高原部に至る傾斜部および高原部分とからなっています。この地域は、古来「備中の国」として中核を占め、近世では、幕藩体制のもとに松山藩を中心として、また近代以降においてお政治・経済・教育の中心地として栄え今日に至っています。

高梁市は老朽化が進む市立図書館や面積狭隘のバスセンターとJR備中高梁駅に隣接する複合施設として、平成29年2月に整備しました。

民間企業との提携により2～4階には広々としてゆっくり過ごせる市立図書館、1～2階はバスセンター、観光案内所のほか、書店や飲食店などの商業施設も入り、駅の改札と直結した立地環境の良さと相俟って住民同士のみならず、観光客も集う施設として地域活推化につながっています。複合施設の整備にあたっては、建設資金の一部として、財政融資資金（過疎対策事業債）が活用されています。

○高梁市複合施設とは

本市の魅力を創造し発信するとともに、市民の福祉及び生活文化の向上に資するため設置するで、次の3つの施設で構成する。

- ① 高梁市図書館（高橋市立図書館事例及び同施行規則）
- ② 高梁バスセンター（高梁市バスセンター条例及び同施行規則）
- ③ 備中高梁市駅東西連絡道（高梁市備中高梁駅東西連絡道条例及び同施行規則）

・JR備中高梁駅に隣接する複合施設内に「高梁市立図書館」が開館。書籍や音楽ソフトレンタル、販売でおなじみの「TSUTAYA」を展開するカルチュア、コンビニエンス、クラブ株式会社（CCC）が運営する図書館として注目されている。全国4例目、岡山県で初となります。2階から4階の図書館のほか、2階には観光案内所、「蔦屋書店」「スターバックスコーヒー」が、そして1階にはバス乗り場や飲食店をはじめとする商業施設も入った複合施設である。



○かがわ Wi-Fi

香川県は、国内外からの観光客や来訪者が手軽に観光情報や交通情報にアクセスでき、更には災害発生時に素早く緊急情報等を取得することができるよう、「だれでも」「無料で」「簡単に」利用できる無料公衆無線 LAN が「かがわ Wi-Fi」を提供している。平成 30 年 2 月現在、県内に 89 カ所 Wi-Fi が設置されている。(県設置 30 カ所、市町村設置 74 カ所、民間設置 787 カ所)の高松市内の設置全体の約半数の 420 カ所となっている。

○高松市亀町商店街においてインパウンド増加・消費活性化を目指す「高松スマート免税、観光プラネットフォーム」取り組み背景と目標

高松へ来るインパウンド(訪問日外国人観光客)を免税カウンターとスマホアプリでおもてなし、全国の商店街が抱えるインパウンド対応の課題である。「免税手続き」の簡素化と「消費活性化」の解決に高松丸亀商店街が3つの新しい取り組みで挑戦。

・セルフ免税カウンター

インパウンドの購買をサポートする「セルフ免税カウンター」を設置。モバイル決済と連動して、免税品の合計金額を自動計算。商店街の対象店舗の一括免税を担当し、買い回り、合算での免税を提供します。

・観光アプリ「Tuttle Trip」

うどん、Art、お湯路、商店街の店舗紹介など高松の魅力を伝える観光案内及び「モバイル決済機能」「免税カウンター連携機能」で周遊、ショッピングをサポートします。

・モバイル決済サービス

通貨両替、小銭の発生といった煩わしさをキャッシュレスモバイル決済で解決。

・ご当地ロボット「おへんろぼ」

ロボットと地元文化が融合したお湯路ロボットを商店街に設置。アートの街高松、アーケード商店街に新たな魅力を発信しながら外国観光客を多言語でご当地ロボットが「セルフ免税カウンター」に誘導します。

高松市は、空港(航空機)や海(クルーズ客船誘致事業)があり、インパウンド観光に適している。インパウンド観光に参考になったが、渋川市とは違った環境、今後、渋川市インパウンド観光課題を乗り越えるために、さらに検討していきたい。

・広々とした空間も特徴的なこちらの図書館では、料理、旅行、住まいと暮らし、健康、趣味実用といったライフスタイル別に分類され、キーワードで自分の目的に合った本が探しやすくなっている。そして、「高粱を知る」といった高粱のコーナーや岡山全体の郷土を知ることができるコーナーもあります。

本を探すときは iPad で便利です。

館内には、あちこちにソファや椅子が設けられており、ゆっくり読書が楽しめます。ドリンクホルダーがある席もあり、蓋付きのドリンクなら持ち込みも可能で、館内どこでも飲めるというのも優しいです。4階のキッズライブラリーは、小学生対象のコーナーと幼児対象のコーナーに分かれており、年齢に合った本の探し方ができます。国内、海外お絵本や司書がセレクトした人気のラインナップの大型絵本が揃っています。ベビーには嬉しい、靴を脱いで過ごせる絵本の読み聞かせスペースのほか、子供用トイレや授乳室などの設備完備。子供連れママにとって使いやすさは抜群です。

さらに、「天空の公園」をイメージした、空を感じるキッズテラスには「ポーネルンド」の遊具があり、遠くには備中松山が城を望むことができます。キッズテラスでは、飲食が可能なので、お弁当を持参も、家族やママ友と楽しいでいる姿も見られました。



このような新たな、素晴らしいおしゃれなスポット、複合施設が渋川市にも出来たら、良いと改めて勉強になりました。一日滞在しても有意義に楽しめる施設です。



